

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	432	施策	放課後の居場所の充実
管理事業	こどもプラザ事業	所管部局	地域教育部

1	所管室課	青少年室	事業名	こどもプラザ事業		
事業概要						
こどもプラザ運営、地域教育コミュニティ						
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点
<p>こどもプラザ事業は、留守家庭児童育成室との交流や異学年との交流も活発になり、工作や読み聞かせなどの活動プログラムを実施する広場も増え、実施回数及び参加人数も昨年度より増加しており、コロナ禍以前の活気を取り戻している。</p> <p>地域教育コミュニティ事業についても、各地域がそれぞれ工夫して開催しており、子供たちに体験活動の場を提供している。</p> <p>(1) 太陽の広場 放課後等における子供たちの安心・安全な居場所を提供する「太陽の広場」は、市内全36小学校のうち、36校で実施。 ・開催回数 令和3年度…349回、令和4年度…1,446回、令和5年度…1,535回</p> <p>(2) 地域の学校 学校休業日等に様々な体験活動の場を提供する「地域の学校」は、市内全36校のうち、16校で実施。 ・開催回数 令和3年度…167回、令和4年度…359回、令和5年度…338回</p>		決算額(千円)	28,706	40,913	45,763	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)	89.5	86.4	86.8	
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		熱中症が課題で、外遊びから室内活動に変更したいが、児童数増加により活動場所の確保(空き教室)が困難である。また、見守りボランティアの確保が困難な地域もあり、民間委託モデルなど居場所事業を持続出来るよう検討する。また、こども家庭庁と文部科学省が連携し、多様なこどもの居場所づくりの推進強化を図る中、「こどもプラザ事業」と「留守家庭児童育成室」の校内交流及び連携についてさらに推進して取り組み、学校・地域の協力を得ながら持続可能な仕組みづくりを構築する。		
					継続	

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点
		決算額(千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源の比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	432	施策	放課後の居場所の充実
管理事業	留守家庭児童育成事業	所管部局	学校教育部

1	所管室課	学校管理課	事業名	留守家庭児童育成成室管理事業		
事業概要						
留守家庭児童育成成室管理						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
【包括管理業務委託の導入】 包括管理業務委託の導入に伴い、今まで職員により行っていた問い合わせ対応や施設の不具合に関する現場確認が大幅に減少するとともに、修繕業務など複数の維持管理業務を一括して発注することで、契約・発注事務に係る業務負担の軽減を図ることが出来た。 業務プロセスの改善により、放課後子ども育成室の正職員の業務量について、当初の想定どおり縮減を図ることが出来た。		決算額 (千円)	-	-	26,326	※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)	-	-	100.0	
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容
包括管理業務の実施に当たっては、事業者や関係室課とも協力しながら、連携体制を構築するとともに、事業実施のチェック体制を確立する必要がある。				継続		
				今後も引き続き、施設環境の充実に努める		

	所管室課		事業名			
事業概要						
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ <input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input type="checkbox"/> 持続可能性
		一般財源 の 比率(%)				
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名